

80

HOKUETSU INDUSTRIES CO.,LTD.

株主通信

第80期

2010.4.1 → 2011.3.31

INDEX

経営理念	1
株主の皆様へ	2
トップインタビュー	3
決算ハイライト(連結)	7
財務諸表(連結)	9
ピックアップ	11
製品紹介	12
会社概要	16
株式情報 / ホームページのご案内	17
株主メモ	18

まちの未来、くらしの未来 **AIRMAN®**

北越工業は、1938年の創業以来、70年余りの歴史を持つエアコンプレッサメーカーです。クリーンな「空気」をエネルギーとしたエア・エナジーは環境にやさしく、安全なエネルギー源として高い実績を積んできました。永年培った独創性と高い信頼性を基盤に、空気技術、電気技術や油圧技術を融合した“エアマン”製品は、常に新しい時代のニーズに対応した製品として社会や産業の豊かな発展に貢献してきました。

次代の「豊かな社会」のために、環境と省エネを念頭に入れた新商品の開発にフレキシブルに挑戦し、国内外のマーケットに新たな価値を提供するとともに、社会や産業に貢献してまいります。

経営理念

お客様第一の信念に徹し、社会の発展に貢献する。
物心ともに豊かで、公平な働きがいのある会社とする。
国際的感覚をもち、経営の革新と技術の開発に努める。

製品を通して 社会貢献を果たしてまいります。

株主の皆様へ

平素は、当社の事業運営につきまして格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

本年3月11日の東日本大震災におきまして、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

当社グループは、連携を強め、事業を通じて東日本大震災の復興へ貢献するとともに、お客様のニーズの変化をいち早く捉え商品開発を行い、積極的に提案営業を展開してまいります。

ここに、第80期（平成22年4月1日から平成23年3月31日まで）の営業の概況をご報告申し上げます。

よろしくご高覧賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長 吉岡謙一

Q：業績についてお聞かせください。

A：社員の高い士気により、大きく業績を回復しました。

当期の日本経済は、緩やかな需要の回復傾向から輸出及び生産の増加がみられるものの、個人所得や雇用環境の改善は進まず、また、為替の円高基調による企業収益確保に不透明感もあり、厳しい状況のまま推移いたしました。

このような経営環境の中、当社では主力製品の販売強化と新製品開発に積極的に取り組むとともに、生産性や効率性を高めることにより収益確保に努めてまいりました。その結果、当期



の連結業績は売上高219億24百万円（前期比25.6%増）、営業利益4億96百万円（前期は18百万円）、経常利益5億28百万円（前期比427.3%増）

と大きく業績を回復することができました。

しかしながら、3月11日に発生した東日本大震災では、工場・支店などに被害はなかったものの、海外向けに船積みの予定で保管していた製品が津波の被害を受けることとなりました。その結果、災害による損失61百万円を特別損失に計上し、当期純利益は3億28百万円（前期比392.6%増）となりました。

当社としては高いハードルとして掲げた、期首の連結業績予想を上回る結果をご報告することができたのは、株主様のご支援と当社社員の士気の高さがもたらしたものだと思っております。社員一人ひとりが自分に課した目標に向けて真摯に取り組んでくれたことを、なによりも誇らしく思います。

また、別の成果として当期は新しいマーケットや販路の拡大も実現することができました。これは来期の事業活動において大きな財産となるでしょう。

Q：事業の状況についてお聞かせください。

A：環境配慮型製品が当社の主力商品に成長しました。

当社では継続的に省エネルギーで環境に配慮した製品開発と販路拡大に努めておりますが、当期については、建設機械事業ではオイルフェンス一体型発電機を、産業機械事業では屋外設置型モータコンプレッサや省エネ型モータコンプレッサ「PROAIRシリーズ」の販売強化に努めてまいりました。その結果、オイルフェンス一体型発電機については、発電機全体の約60%



のシェアを占めるなど、これら製品は当社の主力商品に成長することができました。

海外市場に向けての事業活動については、為替の変動による影響を大きく受

けることとなりました。その中であって、前期では鈍かったアメリカ市場やロシア市場が、経済回復基調も手伝って動きを見せ始めたことや、東南アジア市場でのエンジンコンプレッサや発電機の出荷が増加するなど好調に推移いたしました。

特に中国においてはエンジニアやサービスマンを派遣するなど、販路拡大を積極的に行いました。また現地雇用を積極的かつ継続的に進め、自社内でサービス向上のための研修を実施するなど、人材育成に努めております。来期以降はこれら取り組みをベースに中国国内で現地生産できる製品品目を増やしていく計画をしております。

東日本大震災以降、発電機をはじめとする当社製品に多くのお問い合わせ、お引き合いをいただいております。改めて当社製品が社会貢献をなし得るものだと実感するとともに、今後も製品を通して社会に恩返しをしていきたいと考えております。

Q：来期の計画についてご紹介ください。

A：製品を通してできる限り社会に寄与していく所存です。



東日本大震災と夏の電力不足の影響により、年度前半は景気の落ち込みが予想されますが、次第に生産の落ち込みも解消され、後半からは震災前の水準に戻るとともに輸出量の増加や復興需要を背景に回復に向かうことを期待しています。

当社についても、年度前半は引き続き部品材料の調達が困難な状況となることが予想されますが、引き続き各方面からのお引き合いをいただけるものと考えております。できる限りお客様のご要望にお応えするために、資材の調達や製品の生産に全力を尽くしてまいります。

福島での今後の原子力発電所の動向や、それに伴う電力供給状況は非常に気がかりでありま

す。また、これらの問題は東北・関東のみならず、全国的なものとなってくるでしょう。

さらに、被災地が復旧、そして復興のステージに入っていくとき、発電機をはじめとする当社製品の担う役割は大変大きなものになると想定されます。当社が製品供給を通じてどの程度社会に寄与できるのか、どうすれば皆様のニーズにお応えすることができるのか、情勢をしっかりと見据えて事業活動に取り組んでまいります。

来期につきましては、お客様のニーズの変化をいち早く捉えて商品開発を行い、積極的に提案営業を展開するとともに、海外では引き続き新たな販路を開拓し、地域に適合した製品の供給とサービス・補修部品体制の強化を図ってまいります。

収益につきましては、人材育成・改善活動などを継続的に行うことにより、生産・販売活動の効率アップ、コストダウンを着実に進め、収益力向上に努めてまいります。

Q：株主の皆様へのメッセージをお願いいたします。

A：収益状況に応じた配当を行ってまいります。

当社は株主の皆様への利益還元を経営の最重要事項の一つと位置づけ、企業体質の強化や将来の収益力向上に向けた投資に内部留保を効率的に活用しながら、収益状況に応じた配当を継続的に行うことを基本方針としております。

当期の配当金につきましては、前期比1円増配の1株当たり3円とさせていただきました。

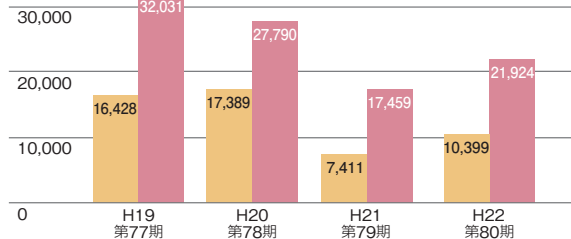
当社は社員それぞれが自立し、目標に向かって進むことができる企業風土を有しております。また、それをバックアップすべく当社としてもできる限り社員に権限と裁量を与えて自立を促してまいりました。そんな社員の“チカラ”が今後も当社の“チカラ”となっていくと確信しております。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

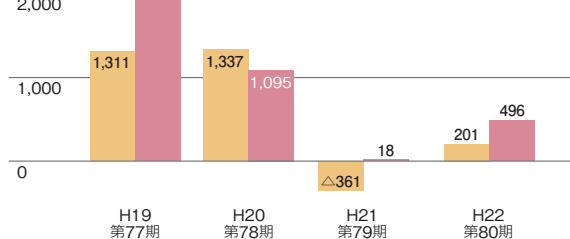


決算ハイライト（連結）

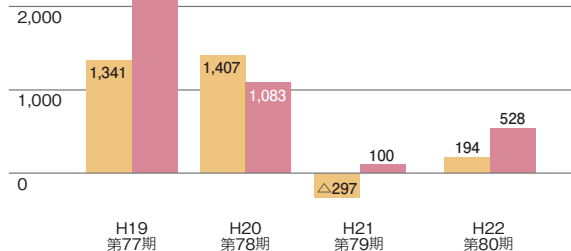
売上高 第2四半期 通期（百万円）



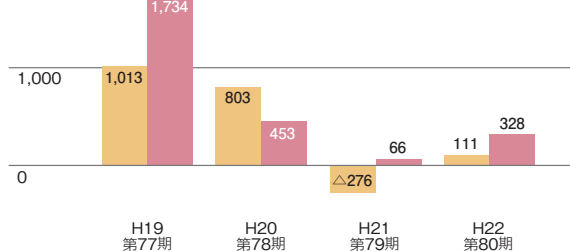
営業利益 第2四半期 通期（百万円）



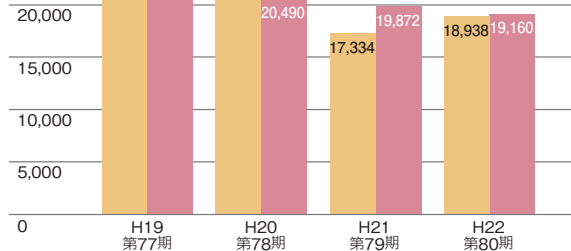
経常利益 第2四半期 通期（百万円）



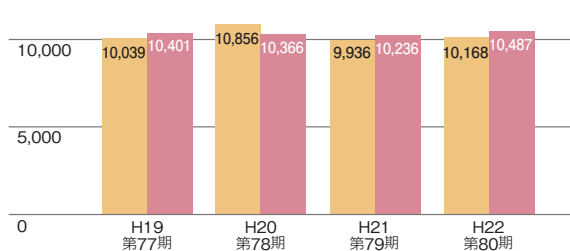
当期(四半期)純利益 第2四半期 通期（百万円）



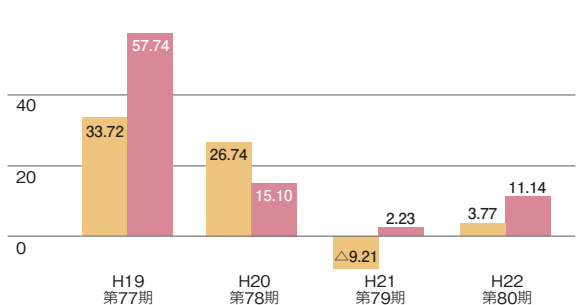
総資産 第2四半期 通期（百万円）



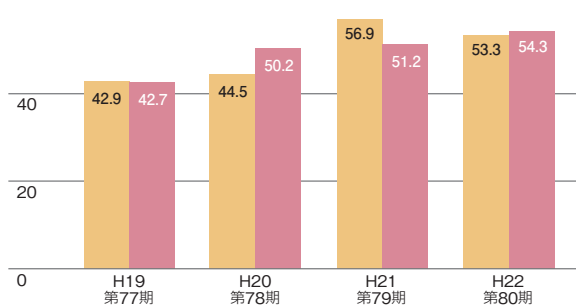
純資産 第2四半期 通期（百万円）



1株当たり当期(四半期)純利益

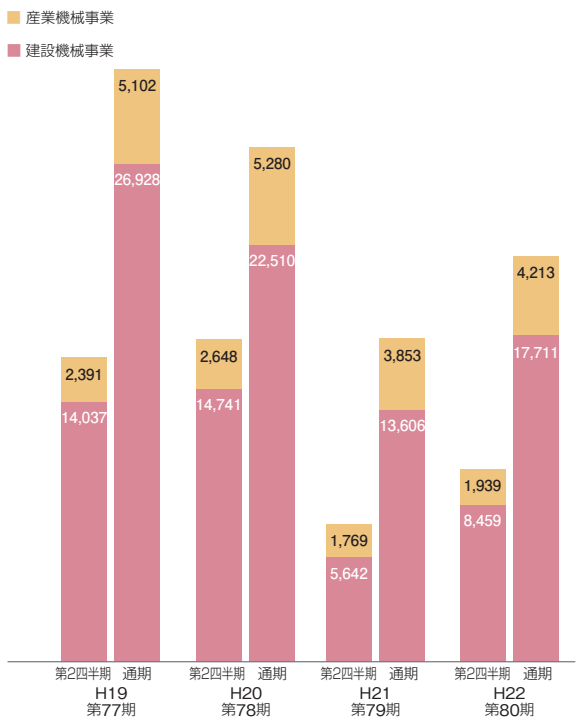


自己資本比率



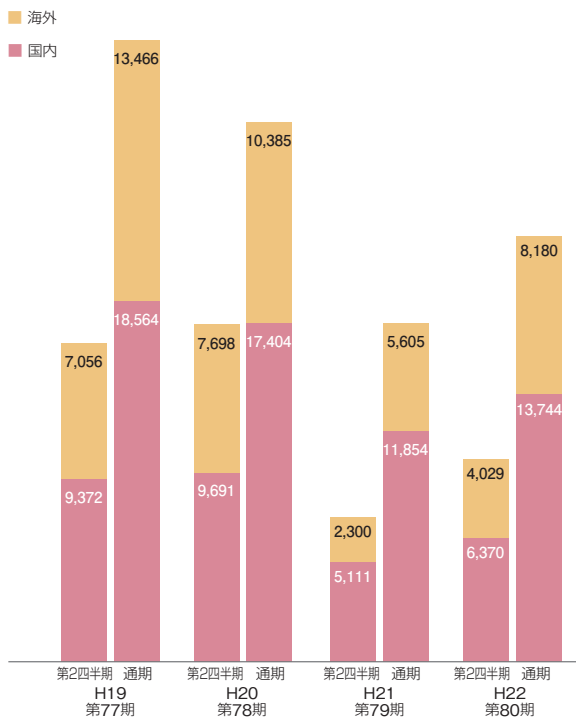
事業別売上高

(百万円)



地域別売上高

(百万円)



財務諸表（連結）

連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

	当 期 (平成23年3月31日)	前 期 (平成22年3月31日)
〔資産の部〕		
流動資産	12,853	13,622
固定資産	6,307	6,250
有形固定資産	3,517	3,570
無形固定資産	303	313
投資その他の資産	2,486	2,366
資産合計	19,160	19,872
〔負債の部〕		
流動負債	5,949	6,947
固定負債	2,723	2,689
負債合計	8,673	9,636
〔純資産の部〕		
株主資本	10,425	10,186
資本金	3,416	3,416
資本剰余金	3,394	3,394
利益剰余金	3,731	3,461
自己株式	△116	△87
その他の包括利益累計額	△19	△19
その他有価証券評価差額金	113	53
為替換算調整勘定	△132	△73
少数株主持分	80	69
純資産合計	10,487	10,236
負債純資産合計	19,160	19,872

連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

	当 期 (自 平成22年4月 1日 至 平成23年3月31日)	前 期 (自 平成21年4月 1日 至 平成22年3月31日)
売上高	21,924	17,459
売上原価	17,643	13,909
売上総利益	4,280	3,550
販売費及び一般管理費	3,784	3,532
営業利益	496	18
営業外収益	94	159
営業外費用	61	77
経常利益	528	100
特別利益	0	81
特別損失	83	21
税金等調整前当期純利益	445	160
法人税、住民税及び事業税	191	88
法人税等調整額	△85	10
少数株主損益調整前当期純利益	339	—
少数株主利益又は 少数株主損失(△)	10	△5
当期純利益	328	66

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

	当期	前期
	(自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)	(自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)
営業活動による キャッシュ・フロー	1,648	1,357
投資活動による キャッシュ・フロー	△230	△369
財務活動による キャッシュ・フロー	△1,548	△1,305
現金及び現金同等物に係る 換算差額	△59	10
現金及び現金同等物の 増減額（△は減少）	△190	△307
現金及び現金同等物の 期首残高	3,211	3,519
現金及び現金同等物の 期末残高	3,020	3,211

（キャッシュ・フローの状況）

当連結会計年度における現金及び現金同等物は前連結会計年度に比べ190百万円減少し、3,020百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

■営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、前連結会計年度に比べ290百万円増加し、1,648百万円の収入超過となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益、減価償却費及びたな卸資産の減少等によるものであります。

■投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、前連結会計年度に比べ139百万円増加し、230百万円の支出超過となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出及び無形固定資産の取得による支出等によるものであります。

■財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、前連結会計年度に比べ243百万円減少し、1,548百万円の支出超過となりました。これは主に、短期借入れによる収入、短期借入金の返済による支出及び長期借入金の返済による支出等によるものであります。

連結株主資本等変動計算書（自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本					その他の包括利益累計額			少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	その他の包括利益 累計額合計		
平成22年3月31日残高	3,416	3,394	3,461	△87	10,186	53	△73	△19	69	10,236
当期変動額										
剰余金の配当			△59		△59					△59
当期純利益			328		328					328
自己株式の取得				△29	△29					△29
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）						60	△59	0	10	11
当期変動額合計	—	—	269	△29	239	60	△59	0	10	250
平成23年3月31日残高	3,416	3,394	3,731	△116	10,425	113	△132	△19	80	10,487

被災地の復旧に役立っています！

国土交通省排水ポンプ車

水中ポンプ2台の電源として稼働。



SDG220S-3A1

携帯電話中継塔電源

携帯電話の中継基地電源として稼働。



SDG25S-7B1



●エンジンコンプレッサ

PDS185S [空気量5.2m³/min、圧力0.69MPa]

海外輸出向けのPDS185がモデルチェンジ。低燃費を実現した4気筒直噴エンジンを搭載。好評のフラットフレーム構造や大型のガルウイングドアによりメンテナンス性もすぐれています。海外の燃料事情を考慮した大容量の燃料フィルタ、エンジンオイルフィルタや燃料プレフィルタを標準装備。エアエレメントもダブルで装備しています。またコンクリートブレーカ等を収納するツールボックスも従来機の2倍の大きさになりました。

●大型発電機

SDG400S [定格出力350/400kVA、周波数50/60Hz]

SDG500S [定格出力450/500kVA、周波数50/60Hz]

大型のSDG400S/500Sが軽量・コンパクトになってモデルチェンジ。小型機で好評のフラットフレームやパネル構造を採用。メンテナンス性も大幅にアップしました。



●高所作業車

ENTLO61 [作業床最大地上高6.1m、全長×全幅1,750×750mm]

6.1mクラスのENTLO61が軽量・コンパクトになってモデルチェンジ。業界初の「高さ表示機能」を標準装備。従来機で4個だったバッテリーを2個に低減し省エネ化も実現しました。軽量・コンパクト設計だから、作業用エレベータへの積載が可能で狭所作業もらくらく行えます。屋外保管もOK。好評なトラックへの積み込みが簡単に行える一点吊りも標準装備しています。





●モータコンプレッサ「PROAIR」シリーズ

SMS15ED [屋外設置型、空気量2.4m³/min]

SAS15SD [空気量2.4m³/min]

SAS15VD [インバータ制御、空気量2.4m³/min]

SAS/SMSシリーズの小型機SAS15、SMS15がモデルチェンジして「PROAIR」シリーズとして新登場。業界初の新ベルト駆動システムの採用により、ベルトのメンテナンスフリー化とさらなる信頼性を実現しました。パージ制御やインバータ制御などの省エネ機能も充実。フルオープントップカバーでメンテナンスも簡単に行えます。これで小型機3.7～15kWの「PROAIR」シリーズが勢揃いしました。

●屋外設置型モータコンプレッサ 設置例

SMS15ED

屋外設置型は工場の空いたスペースに建物無しで設置でき夏場のオーバーヒートを回避できます。

工場内のスペースの有効利用が可能となります。



こんなところに **AIRMAN**®

当社製品は工事現場や工場内をはじめ、様々なところで活躍しております。
実際に当社製品が使用されている現場をご紹介します。



●工場にて

夏場の電力ピークカット用に、エンジン付きエアコンプレッサが威力を発揮し、モータ駆動のエアコンプレッサを停止し、電力の削減に寄与しています。

●オフィス街にて

オフィス街では夏場の電力ピークカット用に、極超低騒音発電機が威力を発揮し、電力の削減に貢献しています。騒音は少なく全く気にならないレベルです。



●養鶏場にて

養鶏場では、換気ファンがストップしたら、温度上昇で鶏の生命に影響が出ます。商用電源が停止しても非常用として電気を供給します。愛情を込めて鶏の命を守り、経営にダメージを与えません。



●競馬場にて

競馬場では、商用電源の供給が停止されても、発券機や照明用の電源として、非常時の緊急対応用に設置されています。

会社概要

(平成23年3月31日現在)

社名	北越工業株式会社
英文社名	HOKUETSU INDUSTRIES CO., LTD.
創立	昭和13年5月15日
資本金	3,416,544,561円
従業員	537名(連結)、398名(単独)
営業品目	エンジンコンプレッサ、モータコンプレッサ、ディーゼル発電機、小型発電機、高所作業車、ミニバックホー、エンジン溶接機

事業所所在地

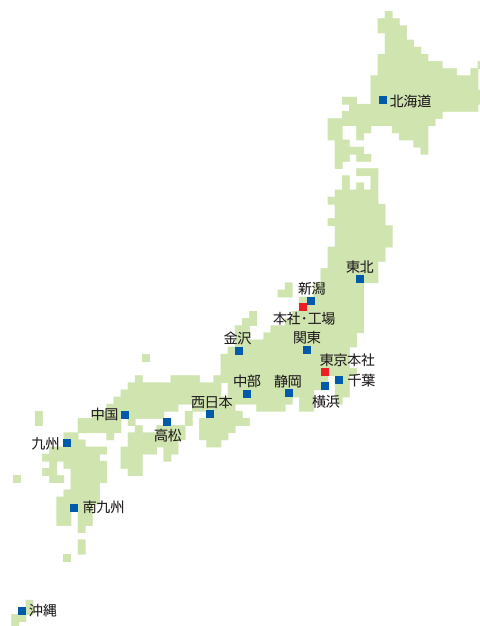
本社・工場 TEL.0256-93-5571(代)	〒959-0293 新潟県燕市下粟生津3074
東京本社 TEL.03-3348-8569	〒160-0023 東京都新宿区西新宿1-22-2 新宿サウザンビル8階
北海道支店 TEL.011-222-1122	〒060-0051 北海道札幌市中央区南1条東3-9-2
東北支店 TEL.022-258-9321	〒983-0013 宮城県仙台市宮城野区中野字葦畔151
新潟営業所 TEL.025-261-9001	〒950-2121 新潟県新潟市西区横尾311-1
関東支店 TEL.027-361-1600	〒370-0041 群馬県高崎市東貝沢町1-18-12
千葉営業所 TEL.043-223-1092	〒260-0831 千葉県千葉市中央区港町12-6
横浜営業所 TEL.045-922-3337	〒226-0016 神奈川県横浜市緑区霧が丘1-13-5
静岡営業所 TEL.054-238-0177	〒422-8035 静岡県静岡市駿河区宮竹1-10-23
沖縄営業所 TEL.098-879-3311	〒901-2131 沖縄県浦添市牧港5-6-3
中部支店 TEL.0586-77-8851	〒491-0822 愛知県一宮市丹陽町伝法寺120
金沢営業所 TEL.076-233-1152	〒920-0043 石川県金沢市長田2-28-14
西日本支店 TEL.06-6349-3631	〒566-0055 大阪府摂津市新在家2-32-13
中国支店 TEL.082-292-1122	〒730-0835 広島県広島市中区江波南2-10-17
高松営業所 TEL.087-841-6101	〒761-0101 香川県高松市春日町1648-2
九州支店 TEL.092-504-1831	〒816-0912 福岡県大野城市御笠川3-7-1
南九州営業所 TEL.0995-62-4166	〒899-5231 鹿児島県姶良市加治木町反土1442-8

取締役および監査役 (平成23年6月29日現在)

代表取締役社長	吉岡 謙一
専務取締役	井村 謙三
常務取締役	金澤 修
常務取締役	寺尾 正義
取締役	上原 均
取締役	高橋 謙三
取締役	山後 正幸
常勤監査役	安達 政実
監査役	川口 勲
監査役	小栗 孝雄
監査役	半田 基

連結子会社

株式会社イーエスシー
イーエヌシステム株式会社
株式会社ファンドリー
HOKUETSU INDUSTRIES EUROPE B.V.



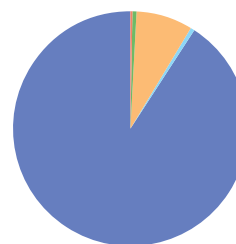
株式の状況

発行可能株式総数	50,000,000株
発行済株式の総数	30,165,418株
株主数	3,190名

大株主

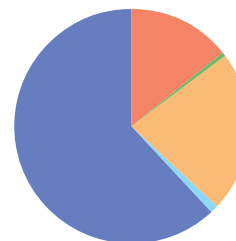
株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
佐藤美武	2,706	9.21
バイオグリーン有限会社	2,544	8.65
株式会社みずほ銀行	1,450	4.94
株式会社第四銀行	1,439	4.90
佐藤陽子	1,419	4.83
北越工業持株会	1,203	4.09
北越工業従業員持株会	615	2.09
日本生命保険相互会社	597	2.03
石田君江	570	1.94
日立建機株式会社	390	1.33

(注) 1. 当社は、自己株式を771,907株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 出資比率は自己株式を控除して計算しております。



所有者別

- 金融機関
10名 (0.31%)
- 証券会社
21名 (0.66%)
- その他国内法人
250名 (7.84%)
- 外国法人等
14名 (0.44%)
- 個人・その他
2,895名 (90.75%)



所有株式数別

- 金融機関
4,277千株 (14.18%)
- 証券会社
231千株 (0.77%)
- その他国内法人
6,705千株 (22.23%)
- 外国法人等
287千株 (0.95%)
- 個人・その他
18,663千株 (61.87%)

ホームページのご案内

当社ホームページでは、企業情報や製品情報をはじめ、IR情報などを掲載し、当社を理解していただくための有効な情報の開示に努めています。是非ご覧ください。

トップ
ページ



<http://www.airman.co.jp/>

IR
情報



<http://www.airman.co.jp/ir/>

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
剰余金の配当基準日	3月31日 (中間配当を行う場合は9月30日)
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	1,000株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲1丁目2番1号
事務取扱場所	みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先	お取引の証券会社になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行株式会社証券代行部
電話お問い合わせ先		0120-288-324 (フリーダイヤル)
お取扱店		みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店
ご注意	未払配当金の支払、支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。	単元未満株式の買取以外の株式売買は出来ません。 電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券がある場合は至急ご連絡ください。

公 告 方 法 当社ホームページ (<http://www.airman.co.jp/>) に掲載します。ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。

上 場 証 券 取 引 所 東京証券取引所

○上場株式配当等の支払に関する通知書について

租税特別措置法の平成20年改正（平成20年4月30日法律第23号）により、平成21年1月以降にお支払いする配当金について株主様あてに「支払配当金額」や「源泉徴収税額」等を記載した「支払通知書」を通知することとなりました。

配当金を配当金領収証にてお受取りの株主様は来年の確定申告手続きに合わせて平成23年末～平成24年初に「支払通知書」を送付いたしますのでご覧ください。

(なお、口座振込を指定されている株主様は配当金をお受取の際に送付されている「配当金計算書」が「支払通知書」となりますので、引き続き確定申告の際の添付資料としてご使用ください。)

○株主様のご住所・お名前等に使用する文字に関してのご案内

株券電子化実施に伴い、株主様のご住所・お名前等の文字に、株式会社証券保管振替機構（ほふり）が振替制度で指定していない漢字等（いわゆる「外字」）が含まれている場合は、その全部または一部をほふりが指定した文字またはカタカナに変換して、株主名簿に記録いたしております。

このため、株主様にご送付する通知物の宛先が、ほふりが指定した文字に置き換えられる場合がありますのでご了承ください。

株主様のご住所・お名前等として記録されている文字については、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

AIRMAN®